

平成28年度 学校自己評価 最終報告

平成29年3月2日
海田町立海田南小学校

- 学校経営理念
 ○ 子ども：「自分のよさが発揮でき、学習することが楽しいと感じることができる」学校
 ○ 保護者・地域：「子どもを通わせてよかった、学校があつてよかったと思える」学校
 ○ 教職員：「持ち味が発揮でき、チームで動き、やりがいのある」学校

評価計画			自己評価				担当	今年度の成果(○)と課題・改善(●)				
ビジョン(めざす姿)目標	評価項目(取組)	評価指標(目標値)	評価	中間 第1回結果補助指標	評価	最終 第2回結果補助指標						
か ・自ら課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、問題を解決する児童 ・基礎・基本を確実に身に付け、家庭で学びを深める力を身につけた児童 ・進んで読書をする児童	1 日々の授業において児童が主体的に取組む工夫をするとともに、授業研究を通して、児童が意欲的に取り組む課題発見・解決型の授業を行う。	児童アンケート「授業では自分の考えとその理由を明らかにして相手にわかりやすく伝えるように発表を工夫している。」	80%以上	4	児童アンケートにおける肯定的評価の割合 77.4% 「あまりあてはまらない」19.1% 「あてはまらない」3.5%	4	児童アンケートにおける肯定的評価の割合 79.7% 「あまりあてはまらない」17.3% 「あてはまらない」3.0%	教務 ○児童アンケートにおける肯定的評価が2.3ポイント上がった。 ○発表の手助けとなる話型を系統立てて作成し、 全学年で取り組む ことができた。 ●教師が児童の発言を途中で取らずに、理由を付けて最後まで言い切らせる指導を行っていく。 ○教師アンケートにおける肯定的評価の割合が36.2ポイント上がり、否定的評価の割合が10%を下回った。 ○校内研究を通して、 国語科の課題発見・解決型学習の授業 の具体的なイメージがもて、 実践する教師が増えた 。 ●多少なりとも実践できている教師は95.8%であるが、肯定的評価の割合でみると80%を上回ることができていないので、問題解決的な学習を意識した取組を全教師が意識統一を図って行っていく。 ○CRTの結果において、正答率60%以上の児童の割合が88.2%であった。基礎・基本の学力の定着はおおむねついている。 ○「『基礎・基本』定着状況調査」と「全国学力・学習状況調査」の問題を解き、本校の課題となった問題を「ぐんぐんタイム」等で解かせたり、 授業改善に取り組んだり したことにより成果を出すことができた。 ●目標値の90%を超えるために、さらに定着を図ることができる取組を進めていく。 ○ 課題図書を読む取組 を行い、教室に配架し、 読む環境を整えた ことで、発達段階に合った本を手にとることができた。 ●1か月間に読んでいる本の冊数が0冊の児童を0%にすることができなかった。少数ではあるが、読書習慣が身に付くように継続した個別指導を行っていく。				
			70%以上	3		3						
			60%以上	2		2						
			60%未満	1		1						
		教師アンケート「国語の授業において問題解決的な学習を積極的に取り入れている。」	80%以上	4	教師アンケートにおける肯定的評価の割合 34.6% 「あまりあてはまらない」53.8% 「あてはまらない」11.5%	4						
			70%以上	3		3						
			60%以上	2		2						
			60%未満	1		1						
	3 各種学力調査(全国・県・NRT・CRT等)の結果を分析し、課題を見つけて取り組む。	各種学力調査(全国・県・NRT・CRT等)の60%以上の児童の割合	90%以上	4	【1年】1学期末テスト94.6% NRT【2年】83%【3年】75.5%【4年】58.4% 「基礎・基本」【5年】76.0% 全国学力【6年】77.1% 【全学年平均】 77.4%	4	標準学力調査(CRT)1月全学年実施(1・2年-国・算)(3~6年-国・算・理) 【1年】97.7%【2年】91.1%【3年】93.0% 【4年】77.4%【5年】83.8%【6年】86.4% 【全学年平均】 88.2%					
			80%以上	3		3						
			70%以上	2		2						
			70%未満	1		1						
	4 児童が積極的に読書活動を進めるような図書館教育の推進、委員会や学級指導を行う。	図書室で本を借りない児童の割合(本を読まない児童の割合)	0%	4	1か月間に読んでいる本の冊数 5冊以上61.6%(平均13.9冊) 3冊以上24.8% 1冊以上11.9% 0冊 1.6%	4	1か月間に読んでいる本の冊数 5冊以上 62.2% 3冊以上 24.9% 1冊以上 11.4% 0冊 1.4% 【平均読書冊数】8.97冊					
			20%未満	3		3						
			20%以上40%未満	2		2						
			40%以上	1		1						
い 意気高い心 自らを律しつつ、友達と協力し、人や物や場を大切にす意気高い心を持った児童	5 自分のあいさつレベルを決め、自ら進んで気持ちのよいあいさつができる児童を育てる。	保護者アンケート「わが子は、だれに対しても気持ちのよい挨拶ができる。」	90%以上	4	保護者アンケートにおける肯定的評価の割合 69.0% 児童アンケートにおける肯定的評価の割合88.5%	4	生徒指導 ○来校者への挨拶の向上が伺える。 ○学年で 挨拶向上に向けた取組 は効果があった。 ●挨拶をする児童としない児童の差がある。教員が見ていないと挨拶が少ないと言う声が、交通安全ボランティアさんからある。自分から進んであいさつができるように、各学年で挨拶向上に向けた取組を行っていく。 ●挨拶の良い児童に対して、名札裏にシールを貼り、20個貯まったら表彰する取組を行う。 ○ 自主的に校庭のゴミを拾う姿 が見られた。 ●校庭にお菓子のゴミが捨ててあることがあり、その数は減少していないことから、人が見ていない所での行動に課題がある。迅速に学級指導を行い、自律する心を育てる。 ●無記名の物や落としても平気な面が見られる。学期のはじめに記名する時間を設定する。					
			80%以上	3		3						
			70%以上	2		2						
			70%未満	1		1						
	6 「体験活動を取り入れた道徳学習プログラム」など、学校の教育活動全体で「人や物に感謝」する取組を行う。 各学年の実施合計数	各学年の実施合計数	12回以上	4	「体験活動を取り入れた道徳学習プログラム」を実施した学年—1(学年) 「人や物に感謝」する取組—各学年1回実施 1回×6学年=6回 1+6=7 7回	4						
			7~11回	3		3						
			6回	2		2						
			5回以下	1		1						
			た たくましい体 自ら心身の健康保持増進に取り組む児童	7 体力テストの結果(H27年度)を受け、体力の向上に向けた取組を行う。(サーキットトレーニング、体力づくりタイム、なわとび週間など)		体力テスト 全国平均を超えている割合(各学年の全国平均超種目数の合計÷全体の種目数)		95%以上	4	平成27年度の全国平均を超えた種目数(男子)37+(女子)28=65 65÷96=0.67708... 67.7% 96=8種目×6学年×2(男女)	4	○夏季研修を実施することにより、 教師の意識統一 を図ることができた。 ○各学年の実態に応じて 家庭学習 に取り入れ、 重点課題種目 における伸びが見られるなど成果につなげることができた。 ●計測後も継続して取り組んでいかなないとすぐに結果につながらないものがある。研修で学んだことを実践する時間の確保が難しい。全学級で担任が体力向上を意識した取組を行っていく。 ○ 家庭でも栄養素の色が話題に上がる ようになった。 ○「朝ごはんフェア」では、回を重ねるごとに参加者が増えた。試食を通して 実践につながりやすい啓発 となった。参観日に合わせて実施することで、多くの参加者を得ることができた。大学や企業と連携し、新しいレシピの提案ができた。 ●保健委員会は、全校朝会の呼びかけで「早起き」についてはできたが、「朝ごはん」についてはできなかった。保護者も、意識はできているが実践になかなか結び付いていない。各学級で「朝ごはん」に野菜を採ることの意義を指導し、保護者へも啓発を進めていく。
								85%以上	3		3	
75%以上	2	2										
75%未満	1	1										
8 早寝早起き朝ごはん調べを年4回(5,7,10,1月)実施し、家庭と連携しながら生活リズムを確立していく。	早寝早起き朝ごはんカレンダーで、7日間の朝ごはんのうち5日間野菜を食べた児童の割合	80%以上	4	【1年】71%【2年】70%【3年】72% 【4年】72%【5年】53%【6年】57% 【全体平均】 64.7%	4	【1年】76%【2年】75%【3年】67% 【4年】67%【5年】61%【6年】66% 【全体平均】 68.7% 「朝ごはんフェア」参加者数 1回目(120名)2回目(180名) 3回目(202名)						
		70%以上	3		3							
		60%以上	2		2							
		60%未満	1		1							
みなぎる ・みんなの力で 組織的に、かつ協働することで、活力ある教育活動を展開し、保護者や地域に信頼される学校	9 保護者や地域の方に、学校の取組情報を積極的に発信し、理解と協力を得る。	ホームページの表示数	1日平均400件以上	4	7月29日現在表示数32,008 4月6日~7月31日(117日間) 32,008÷117= 273.57... (1日平均)	4	情報 ○学校での児童の活動の様子などを リアルタイムで発信 しており、保護者や地域の人から好評である。 ○保護者アンケート「海田南小学校のホームページを見ている。」では、肯定的評価の割合が、(第1回)41.6%→(第2回)50.1% ●今後も、児童の個人情報保護の徹底を図りながら、学校からの情報発信を進めていきたい。					
			1日平均300件以上	3		3						
			1日平均200件以上	2		2						
			1日平均200件以下	1		1						
	10 学校全体で業務改善に取り組むことを通して、子供に向き合う時間を増やす。	教職員アンケートの、児童に向き合う時間の増加	80%以上	4	県アンケート第1回【5月実施】 教職員アンケート「児童と向き合う時間が確保できている。」の肯定的評価の割合 54.2%	4		県アンケート第2回【10月実施】 教職員アンケート「児童と向き合う時間が確保できている。」の肯定的評価の割合 65.6% 学校アンケート【1月実施】 81.1%				
			70%以上	3		3						
			60%以上	2		2						
			60%未満	1		1						
業務改善	○夏季休業中に今年度の取組の見直しを行い、すぐに スクラップ できるものについては2学期より 実行 していくことができた。 ○ 教職員の業務改善に対する意識の向上 を図ることができ、校内で実施した教職員アンケートでは、「児童と向き合う時間が確保できている。」の肯定的評価の割合が80%を超えた。 ●来年度に向けての計画においても、学校全体でスクラップアンドビルドを意識した取組を徹底し、「児童と向き合う時間の確保」につながる改善を行っていく。											